

# 放流効果調査事業（マコガレイ）

村松里美・高橋進吾

## 目 的

第7次栽培漁業基本計画の技術開発対象種となっているマコガレイについて、陸奥湾（東湾）系群の放流効果を把握するため、放流技術の開発に取り組む。

## 材料と方法

野辺地町地先周辺に標識を施した人工種苗を放流し、野辺地町漁協に水揚げされたマコガレイについて、外部標識等の有無を確認した。

## 結果と考察

2020年12月21日から2021年1月21日までの間に野辺地町漁協に水揚げされたマコガレイ計322尾について標識（腹鰭抜去）の有無を確認したところ、12月21日に放流魚と思われる骨格異常魚（短軀症）1尾（全長22.5cm）を確認した。2014年産の稚魚に骨格異常魚が多く、今回確認された個体は、2014年産と推定された。放流魚の混入率は0.3%であった（表1）。2015年から継続して腹鰭抜去魚を放流しており（表2）、過去6ヵ年では、腹鰭抜去された放流魚が、2018年及び2019年に確認されている（表3）。2020年度は標識魚は確認されなかったが、引き続き市場調査を行い、放流効果を把握する。また、再捕された標識魚の生産年は、全長及び抜去した部位によって推定したものであるため、今後耳石による生産年（年齢）の特定が必要である。

表1 マコガレイの放流効果調査結果

調査月日	測定尾数 (尾)	腹鰭抜去 (尾)	骨格異常 (尾)	混入率 (%)
2020/12/21	169	0	1	0.6
2020/12/24	136	0	0	0.0
2021/1/21	17	0	0	0.0
計	322	0	1	0.3

表2 これまでのマコガレイ標識放流結果

生産年	放流月日	放流場所	年齢 (歳)	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	標識部位 (腹鰭抜去)
2015	2017/3/30	野辺地川河口	1	100>	850	有眼側
2016	2017/6/6	野辺地川河口	0	45	3,673	無眼側
2017	2018/10/21	堤川河口	0	64	500	有眼側
2017	2019/7/19	野辺地川河口	1	164	337	無眼側
2018	2020/2/10	野辺地川河口	1	111	1,203	有眼側
2019	2020/6/18	野辺地沖	0	49	1,942	有眼側
2019	2021/2/18	野辺地漁港	1	118	1,894	有眼側

表 3 生産年ごとの腹鰭抜去による標識魚の回収率

再捕年	生産年 放流尾数 (尾)	2015	2016	2017	2018	2019
2015						
2016						
2017						
2018			1			
2019		2	9			
2020						
合計		2	10	0	0	0
回収率(%)		0.24	0.27	0.00	0.00	0.00